

シンポジウム：細胞アッセイ技術の現状と将来

2013年11月25日(月)

東京大学生産技術研究所コンベンションホール

主催：細胞アッセイ研究会

共催：公益社団法人化学工学会バイオ部会

ヒト細胞を用いた医薬品アッセイにおいては、培養細胞に臓器・組織特異的機能を発現させることが重要な課題となります。その際には、培養技術を工夫する、あるいは、より機能が低い細胞、または、機能を強制発現させた細胞を用いるアプローチが考えられます。後者について最も期待されているのは、ヒト iPS 細胞です。このような背景から、本年度は「医薬品アッセイに適切な細胞は？」に的を絞って、四人の先生方に基調講演をお願いしました。一般講演は、これまで同様、ポスター形式とし、十分に議論して頂きます。

沢山の皆様方の発表、参加をお待ち申し上げます。

基調講演

「ヒト iPS 細胞由来分化細胞の標準化と創薬への応用」

国立医薬品食品衛生研究所薬理部第二室・室長 諫田泰成

「マイクロチップ技術を利用したスフェロイド培養」

北九州市立大学国際環境工学部・教授 中澤浩二

「細胞アッセイのための標準化」

大阪大学大学院工学研究科・教授 紀ノ岡正博

「製薬関連企業におけるヒト幹細胞応用 ～薬剤安全性評価への取り組み～」

日本製薬工業協会ヒト iPS 細胞応用安全性評価コンソーシアム・リーダー 宮本憲優

組織委員

石田 誠一 (国立医薬品食品衛生研究所)

柿木 基治 (エーザイ(株))

金森 敏幸 (産業技術総合研究所)

小林 英毅 (第一三共(株))

酒井 康行 (東京大学生産技術研究所)

薩川 正広 (科研製薬(株))

清水 秀忠 (日本ベーリンガー・インゲルハイム(株))

杉浦 慎治 (産業技術総合研究所)

平林 英樹 (武田薬品工業(株))

山田 泰弘 (田辺三菱製薬(株))

山下 伸二 (摂南大学薬学部)

一般演題募集

ポスター発表で募集いたします。発表申し込みは、タイトル、全発表者名と所属、連絡担当者名と e-mail アドレスをご記載の上、メールで下記問い合わせ先までお願いいたします。締め切りは 9 月 30 日です。また、10 月 30 日までに要旨(A4 で 1 枚、カメラレディ)を提出して頂きます。

参加申し込み

事前申し込みをお願いします。一般演題に申し込んだ方も、参加申し込みが必要となります。参加者のお名前、ご所属、e-mail アドレスおよび懇親会参加の有無を記載し、メールで下記問い合わせ先までお申し込み下さい。折り返し、お支払い方法等をお知らせ致します。

参加費	5,000 円
懇親会	5,000 円

プログラム概要

9:30PM	受け付け開始
10:00PM	基調講演 1
11:00PM	基調講演 2
1:00PM	基調講演 3
2:00PM	基調講演 4
3:00PM	ポスター発表 (コーヒーブレイク)
5:15PM	懇親会

問い合わせ先

独立行政法人産業技術総合研究所幹細胞工学研究センター
金森敏幸
TEL 029-861-6286
e-mail: t.kanamori@aist.go.jp